

◆ 第3アリアンサにも冬が近づいてきました。

富山のみなさんこんにちは。第3アリアンサでの生活が始まってから3ヶ月が経ちました。ブラジルに着いた4月当初は暑くて家でも毎日汗をかきながら生活をしていましたが、今月の初め頃から徐々に気候が寒くなって来ました。どうやら冬にだんだんと近づいているようです。私の中ではブラジルの気候は年中暑いというイメージでしたが、全くそんなことはありませんでした。ここ最近の気候でいうと、朝と夕方は 10℃台半ば、お昼は 20℃台後半です。一番寒かった時で、10℃くらいの日もありました。寒暖の差が激しいのです。「富山から来る先生はブラジルの冬の方が辛いとよく言う」と先月あたりに村の方々が言うておられ、その時は半信半疑で聞いていましたが、本当にその通りだと感じています。寒暖の差が激しいためか、6月は周囲で風邪がとても流行りました。中には一家全員で風邪を引いた方もおられました。残念ながら私もその流行に乗ってしまい、1週間ほど喉の痛みと鼻詰まりに苦しんでいました。熱が出なかったことが幸いでした。寒さと体調管理の大切さの両方が身にしみた6月でした。それでは今月あった主な出来事を紹介していきます。

ゲートボール大会 6月4日(日)

日系社会ではゲートボールがとても盛んです。大会になるとみなさんが車を乗り合わせてかなり遠くまで大会に出かけるそうです。私も着任早々誘っていただき、毎週火曜と金曜の週 2 回の練習に参加しています。このゲートボールが想像以上に難しいのです。まず、スティックでボールを打つことがとても難しく、しっかりとボールの中心を打たなければ狙い通りの方向に打つことができません。力加減も打つ際には重要だそうです。また、5人チームで行う競技なので、常に味方のことを考えてプレーしなければならないので頭も結構使います。初心者の私にみなさんがとても丁寧に指導してくださり楽しい時間をいつも過ごしています。

練習を開始してから2ヶ月が経ち、初めて大会に参加させていただきました。「アリアンサ大会」という大会で、第1～3 アリアンサ、ミランドポリスから多くのチームが出場していました。一番高齢で103歳の女性の方が参加されており、とても上手にプレーされていました。参加者で若い人が私だけと思いきや、第2アリアンサに派遣されている鳥取県の先生も参加されていました。第3アリア

ンサからは3チームが出場し、私のチームは早々に敗退しましたが、別のチームが優勝し、充実した大会になりました。次の大会ではもっと良い成績を残せるように、練習をさらに積んでいこうと思います。

大会中の様子



フェスタ・ジュニーナ 6月17日(土)

ブラジルでは毎年6月になると各地でフェスタ・ジュニーナ(6月の祭り)が開催されます。元々は中世ヨーロッパにその起源があり、収穫の始まりを祝う祭りでした。それがポルトガル人によりブラジルに持ち込まれ、ブラジルに根付いたそうです。この祭りでは、男女ともに田舎者の格好をします。麦わら帽子をかぶり、男性は口髭、女性は頬にそばかすを書きます。この時期に街のスーパーに行くと大量の麦わら帽子が販売されていました。私は近くの弓場農場で行われた祭りに参加してきました。



↑ 美味しい料理が並んでいます



↑ 豚の丸焼きです



↑ 椅子取りゲーム



↑ 音楽に合わせて踊ります